

# 航空科学技術ロードマップ検討委員会 (案)について

科学技術・学術審議会 研究計画・評価分科会  
第37回航空科学技術委員会  
平成24年4月 27日  
宇宙航空研究開発機構  
航空プログラムグループ

# 1. 経緯、位置付け、諮問事項

## <経緯>

- (1) 航空部門には、我が国をけん引していく産業、及び社会・経済活動を支える輸送システムとして大きな期待が寄せられており、関係省庁等からも航空に関連する施策は数多く出されている。この実現に航空科学技術は極めて大きな役割を担っており、これに寄与することが必要。
- (2) 2012年1月24日、文部科学省研究計画・評価分科会にて、「航空科学技術に関する研究開発の推進方策について(以下、推進方策)」が机上配布され、最終的な決定については6～7月頃だが内容については、ほぼ固まっている。
- (3) 今後、推進方策を踏まえ、JAXAの平成25年度からの次期中期目標を策定するとともに、JAXAには中期目標に応じた中期計画と初年度である平成25年度の予算要求に必要な研究開発計画の立案が求められる。
- (4) なお、JAXAにおいても理事長に対してJAXA航空部門の戦略等を答申する外部諮問委員会、「航空戦略検討委員会」の答申において、「産学官と連携し、航空技術に関するALL-JAPANで共有した目標の設定とその実現に向けたロードマップ策定を主導すべきである。」と提言があった。

これをうけて、関係各界を代表される方々にお集まりいただき、我が国の航空部門が10年後にあるべき姿、それを実現するために我が国として取り組むべき研究開発課題とその優先順位、役割分担等についてご議論賜りたい

# 1. 経緯、位置付け、諮問事項

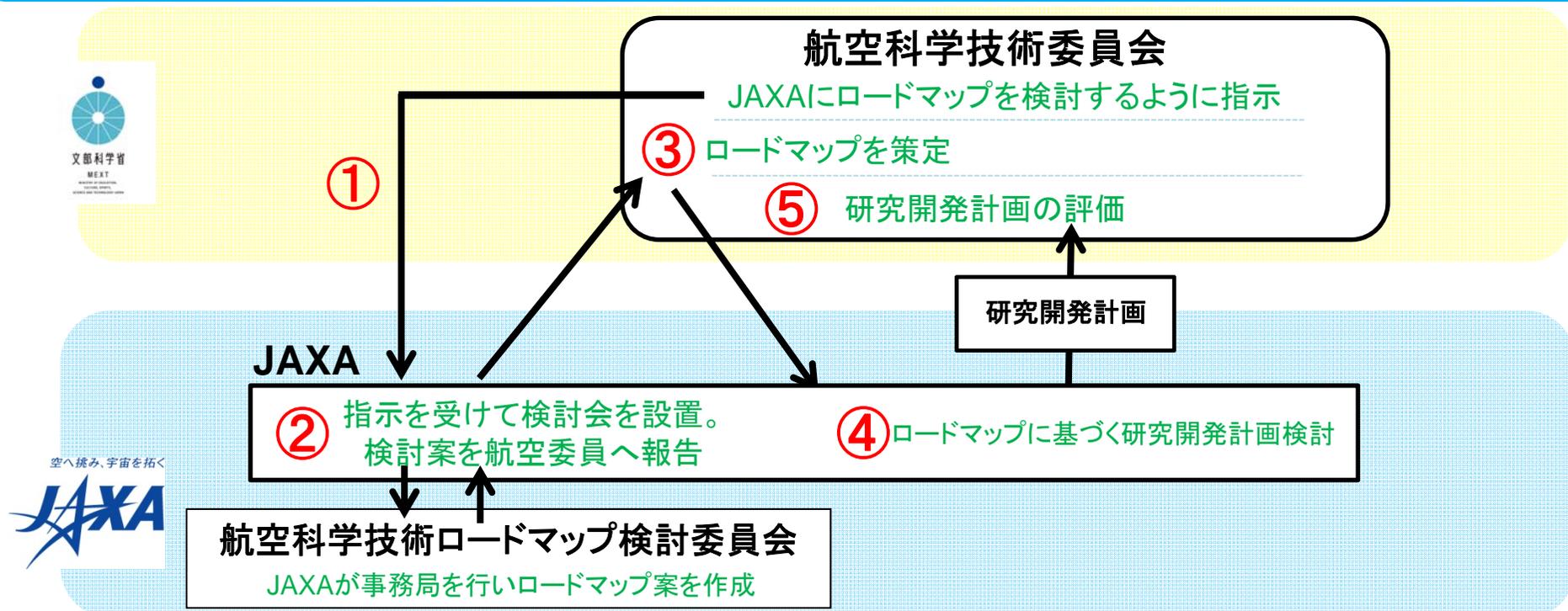
## <位置づけ・諮問事項>

(1) 航空科学技術委員会(以下、航空委員会)の指示に基づきJAXA航空部門担当理事(以下、航空理事)の諮問委員会として設置。以下の①~③に掲げる事項について検討し、航空理事に答申する。航空理事はこのロードマップを航空委員会に報告し、航空科学技術委員会はロードマップの内容を審議し、最終的にロードマップの策定を行う。このロードマップに基づきJAXAは次期中期計画に向けた計画を検討し、航空委員会で評価を受ける。

①我が国の航空部門が10年後にあるべき姿

②第1号を実現するために日本として取り組むことが必要な研究開発課題と、その優先順位

③第2号の研究開発課題を達成するためのJAXA、大学、産業界等、各部門の役割分担





# 3. 委員一覧

## (委員長)

奥田 章順

株式会社三菱総合研究所戦略コンサルティング本部経営戦略グループ  
環境・エネルギー研究本部産業技術戦略グループ(兼任) 参与 主席研究員

## (委員)

### 民間企業

朝倉 博幸

住友精密工業(株)航空宇宙技術部 部長兼 MRJプロジェクトチーム

金津 和徳

株式会社IHI航空宇宙事業本部技術開発センター センター長

鎌田 清敏

三菱重工業株式会社航空宇宙事業本部民間航空機事業部民間機技術部 次長

佐々木 嘉隆

川崎重工業株式会社航空宇宙カンパニー技術本部研究部 部長

水間 洋一

株式会社JALエンジニアリング技術部技術企画室 室長

若井 洋

富士重工業株式会社航空宇宙カンパニー企画管理部長

(五十音順)

### 大学

澤田 恵介

東北大学大学院工学研究科・工学部航空宇宙工学専攻 教授

鈴木 真二

東京大学大学院工学系研究科航空宇宙工学専攻 教授

(五十音順)

### 関係省庁等

佐伯 浩治

文部科学省研究開発局宇宙開発利用課長

近藤 智洋

経済産業省製造産業局航空機武器宇宙産業課長

島村 淳

国土交通省航空局安全部運航安全課 課長

齋藤 賢一

国土交通省航空局交通管制部交通管制企画課新システム技術推進官

山本 憲夫

電子航法研究所 研究企画統括

伊藤 真

防衛省技術研究本部 航空装備研究所航空機技術研究部 部長

(建制順)